

2021年6月6日

チーム代表者 各位

茨城県ドッジボール協会

チーム活動（練習など）における新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、チーム活動（練習など）の実施方法等について、下記の通り基本的な新型コロナウイルス感染防止対策を周知いたします。なお、既に各チーム感染防止対策は実践されている事とは存じますが、本内容を参考にして頂きますようお願い申し上げます。

記

（1） 練習に参加する前

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
 - ・ 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状はある場合）
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該従事者との濃厚接触がある場合
- ② 自宅を出発する前に検温を行い、平熱を超える発熱がないことを確認する。
- ③ 練習に参加するときは、保護者を含め全員マスクを着用する。また、予備のマスク、選手の着替えを用意しておく。
- ④ 練習会場が密にならない様、保護者等の参加（練習会場に入る人）はできる限り少ない人数が望ましい。

（2） 練習会場での準備

- ① 練習会場のすべての窓、ドアを開け常時換気する。（サーキュレーターの併用が望ましい）
- ② 使用する用具（ボール、タイマー等）は事前に消毒を行う

（3） 練習会場に入る時

- ① 参加者の検温及び体調に関して記録する。（参加者リストを作成し、最低2週間保管する）
- ② 入場者全員が手指消毒を行い、マスクを着用して入場する。
- ③ 参加者は、間隔をあけて座る・荷物を置くなど、密にならない様にする。

(4) 練習中

- ① 選手、指導者、保護者はマスクを着用する。
- ② 整列する場合、周りとの距離を確保する。
- ③ 準備運動やランニングなどは、間隔をあけて行い密集とならないように工夫する。
- ④ 選手がペアでボールを使用した後にペアを代える場合は、その都度ボールを消毒する。(指導者と選手のペアも同様)
- ⑤ ボールの消毒は、1つの練習メニューが終わるごとに行う。
- ⑥ 選手がマスク着用時に息苦しい場合などは、周りとの距離を確保してマスクを外して練習を行う。なお、その際は声出しなどを行わないようにする。
- ⑦ フォーメーション練習(守備や攻撃の全体練習)や交流試合を行う場合の審判は、マスク着用やフェイスシールド等で飛沫拡散抑制を図り、タイマーやフラッグは都度消毒を行う。
- ⑧ 指導者が選手を集合させて指示・指導を行う場合は、周りとの距離を確保して密集とならない状態で簡潔に伝える。
- ⑨ 休憩中は、密集して座らない、出来るだけ会話は控える、マスクを外すのは水分補給のみとする。
- ⑩ 自分専用の飲料ボトルを用意し、紙コップ等で飲料水を配らない。また、ペットボトルでの補給は各自毎に用意する。

(5) 練習後

- ① モップ掛け等行う場合、モップ掛け前後で手指消毒(又は手洗い)を行う。
- ② 練習後は、速やかに練習会場から退出する。

(6) 交流会・練習試合

- ① 交流会・練習試合の開催は、県内のコロナウイルス感染状況によるステージの変動や県教育委員会からの通知等を考慮して実施の可否を判断する。
- ② 交流会・練習試合会場の規模に応じた収容人数を考慮し、参加チームを制限して計画する。(最大収容人数の半数以下となるように)
- ③ 参加者が密集とならないように間隔をあけた座席を配置する。
- ④ 参加するチームの責任者が、(1)①, ②項の確認を行い、該当者がいる場合は、チーム自体の交流会・練習試合参加を見合わせる。
- ⑤ 基本的に(1)～(5)の事項に従い、感染防止対策を実践する。
- ⑥ 審判はマスクやフェイスシールドを着用し、試合中の安全確認や判定の結果説明等のやむを得ない場合を除き、ホイッスル及び動作のみとする。
- ⑦ 主審は安全確認等で選手との接触があるため、使い捨て手袋を着用する。

- ⑧ 試合中断の都度、消毒済みのボールに交換する。
- ⑨ 1試合ごとにコートのもップ掛け、ボールやタイマー等の消毒を行う。
- ⑩ その他「新型コロナウイルス感染症拡大防止マニュアル」を参照して計画・実施する。

(7) その他

- ① お菓子類の提供は控える。必要な場合は各自持参し、他人に提供しない。
- ② 食事をする場合は、周りとの距離や向きに配慮する。
- ③ 利用施設のルールに従い、コロナ感染防止対応をおこなう。

以上